

# マネジメント人材育成研修

県内企業の経営者、管理部門リーダー、現場リーダーを対象に、人間力を引き出すマネジメント、生産性を上げるマネジメントを学んでいただき、豊かな企業づくりを目指します。

2名の大学教授の方からは、企業経営者と従業員の意識改革、かんぱんボード手法（経営者から従業員まで情報の見える化）、イノベーション力を生み出す想像力の鍛錬について講演していただきます。さらに、リーン生産方式の基本（生産工程の把握と改善、監督者訓練）を学び、自社の課題解決に向けた手法を学びます。また、広く国内外で活躍されている企業経営者2名の方には、ビジネスのイノベティブな改善事例として“スーパーブランドの構築”と卓越した技術による“差別化の実現”の講演をしていただくとともに、会社を見学させていただきます。

受講者の皆様には“新たな気付き”や“発見”を実感していただければと思います。

## ～研修のポイント～

- 1 人間力を引き出す経営
  - ・経営者と従業員の意識改革
  - ・イノベーションを生み出す経営
- 2 手法を生かすマネジメント
  - ～生産性向上に向けた「ムダ」の理解と発見手法の取得～
  - ・かんぱんボード
  - ・リーン生産方式
- 3 実践例からみる儲かる会社
  - ・ブランド力と差別化
  - ・人間力を生かす

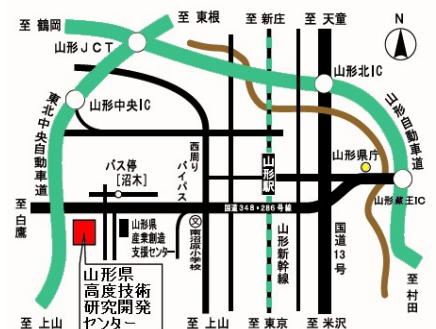
## カリキュラム <研修会コーディネーター 柴田 孝 山形大学客員教授>

開催日	内容	講師
第1回 9/19(水) 12:45～16:45	・全体の流れの把握と理解 ・企業経営者(トップ)と従業員の意識改革	柴田 孝氏(山形大学客員教授) 松田 修氏(山形大学客員教授)
第2回 10/4(木) 12:45～16:45	・かんぱんボード(SCRUM)手法の理解 ・リーン生産方式の基本(VSM&TWI 概要)	柴田 孝氏(山形大学客員教授) 成沢 俊子氏(ヒューキュー代表取締役)
第3回 10/18(木) 12:45～16:45	・イノベーション力を生み出す想像力の鍛錬 と実習	柴田 孝氏(山形大学客員教授)
第4回 10/25(木) 12:45～16:45	・VSM&TWI の受講者自身(自社)の課題解決 ・グループ 討議と成沢先生からのコメント	成沢 俊子氏(ヒューキュー代表取締役)
第5回 11/7(水) 12:45～17:30	・企業訪問による改善事例の見学と講演 “スーパーブランド構築”と“差別化の実現”	齋藤 峰彰氏(株式会社ゼンファクトリー 顧問) 中野 憲司氏(株式会社ナカノアパレル代表取締役社長)

※ 柴田 孝 山形大学客員教授は毎回コーディネーターとして出席予定

- 1 日程 平成30年9月～11月 全 5 回
- 2 会場 第1回～第4回 山形県高度技術研究開発センター研修室  
(山形県山形市松栄2丁目2番1号)  
第5回 株式会社ゼンファクトリー(現地集合)  
～移動～ 株式会社ナカノアパレル(現地解散)
- 3 参加料 20,000円(全5回)
- 4 定員 15名
- 5 対象者 県内ものづくり産業の企業経営者、管理部門リーダー、現場リーダー
- 6 申込方法 裏面の受講申込書にご記入の上、FAXにてお申込み下さい。  
受講が決まりましたと、「受講決定通知書」と「納入通知書」を受講者に郵送します。受講料を納入通知書記載のお支払期限までにお支払いください。
- 7 申込締切日 平成30年9月7日(金)

## ◆ 会場略図 ◆



## 講師紹介(講演順)



しばた たかし  
柴田 孝氏

山形大学客員教授  
米沢製作所/米沢日本電気株式会社(NEC)に入社し、世界初ノートパソコンの開発責任者として、開発管理の新しい仕組みの導入、生産革新、ものづくりのIT化、社内ベンチャーに携わり、取締役、エヌワイデータ社長等を歴任。専門はものづくり経営戦略論、生産革新論。



まつだ おさむ  
松田 修氏

山形大学客員教授  
専門は、技術経営学/OR/IE/VE/QC等、創造技法/問題解決・人材育成等の実学。次代を担う学生に対し「学職連結即戦力」をテーマに掲げ、認知スキル(専門知識、資格、論理思考等)×非認知スキル(コミュニケーション力、リーダー力、抵抗力、知恵力等)を基本とした考え方の理解を唱えている。



なるさわ としこ  
成沢 俊子氏

ピーキューブ株式会社代表  
NEC時代に生産性改善活動に従事し、PEC・山田日登志氏に師事。教育マネージャー等を務める。金融庁勤務を経て、企業への改善支援の傍ら日米技術交流史を研究。近年はTWIの新たな活用も探求中。



さいとう みねあき  
齋藤 峰彰氏

株式会社セゾンファクトリー 顧問  
“自由な発想”試行錯誤を繰り返し最高の味を追求し続ける。味について一切の妥協を許さない“ものづくり”が原点になっている。そして、今もなお、さらに進化した食品を皆さまにお届けできるように日夜精進している。



(株)セゾンファクトリーは、日本の四季をテーマに最高のおいさと感動と笑顔をお客様にお届けすることを使命として、太陽の黄色(サニーイエロー)と大地の黒(アースブラック)をイメージカラーに、お客様から高い信頼を頂ける、食のハイクオリティなブランドを目指している。

“おいしいものにこだわりたい”おいしいものこそが心身の健康を支えるという信念を持ち続け、日本の美しい四季の変化から生まれる旬の素材を、自然の湧き水、樹木に囲まれた山形の地から、人の手の力で感動を伝えられる商品を作る。

“きれいはおいしい”素材の持つ色彩、香り、繊細な味をガラスの器でスタイリッシュに、非日常的な豊かさで楽しく笑顔のある食のシーンを日々お届けしたいと願っている。



なかの けんじ  
中野 憲司氏

株式会社ナカノアパレル代表取締役社長  
1966年叔父が経営する大阪の衣料製造販売会社に入社。20年勤務後常務取締役で退任。1986年奈良県生駒市でナカノ商店創業。1988年株式会社ナカノアパレルを設立。法人組織化し代表取締役社長に就任。2012年株式会社ナカノアパレル山形工場開設。



(株)ナカノアパレルは、編んだ生地を裁断し縫製するカットソーを主体に、アパレルメーカーのOEMとODMを担う企業である。中国の自社工場設立を機に、企画提案をはじめ、素材調達・開発から縫製にいたるすべての工程を一貫して請け負える生産体制が確立した。以降、アパレルメーカーとの関係は、単なる生産ラインを提供する企業ではなく、メーカーの各ブランドを支えるプランニングパートナーへと昇華している。また、本社工場×国内工場×中国工場がそれぞれの特徴を活かしながら作業連携し、多様化する顧客のニーズを実現している。さらに、パタンナーが常駐し、オフィス内に縫製ルームが完備しており、オリジナルサンプルブランドの試作品をタイムリーに作成し提案している。また、立ちミシン方式の採用、1枚裁断機の導入、高度な縫製技術の自社開発など卓越した技術がある。

## 受講申込書

会社名				TEL/FAX	
住所	〒				
代表者名	(役職・氏名)				
氏名	(フリガナ)	年齢			
所属・役職			勤続年数		
Email アドレス					

<問合わせ先・申込み先>

(公財)山形県産業技術振興機構  
担当 稲村 誠

〒990-2473 山形市松栄二丁目2-1 山形県高度技術研究開発センター内  
TEL 023-647-3154 FAX 023-647-3139 E-mail m-inamura@ypoint.jp